



記録的な大雨 市内各所で災害発生

9月5日夜から、7日にかけて宗谷北部を襲った大雨災害。この間に降った雨量は200ミリを超える記録的なものとなりました。



避難所の様子



氾濫したエノシコマナイ川

稚内市では6日早朝から情報収集を行い、災害対策本部を立ち上げ市民の皆さんへの周知広報にあたりると共に、避難所の開設や災害箇所への対策などを行いました。その後、稚内地方気象台からの土砂災害警戒情報が発令に伴い市全域に避難準備情報を出し、土砂災害等の危険がある地域などには最大で98世帯208人に避難指示、3,264世帯6,210人に避難勧告を発令。約250人の皆さんが避難所に避難しました。この災害での人的被害は特にありませんでしたが、市

内各所で河川の氾濫(4カ所)や道路冠水(19件)、土砂災害(20件)、道路の陥没(4件)、家屋の床上・床下浸水(34件)など多くの被害が発生(9月21日現在)。市民生活や、交通機関などに大きな影響を及ぼしました。被害に遭われた市民の皆さんには心からお見舞い申し上げます。また、復旧作業や医療巡回等でご協力いただいた皆さんをはじめ、全国からお見舞いや励ましのメッセージをいただきましたことにつきまして心からお礼申し上げます。

なお、市民の皆さんにおかれましては、今回の大雨のような突然の災害に備え、避難する際の手順や防災ラジオの設置確認などを改めてご確認くださいませますようお願いいたします。

(所管課 市総務防災課)

友好都市の高校生交流を「応援」 「コンカツ」でますの新メニュー

好都市(稚内市・枕崎市)が交流を図る「稚内コンカツプロジェクト」推進協議会では、枕崎市の協議会と協力して8月下旬、「最北の高校生が贈る北と南のハネムーンコンカツツアー」を実施。初めてとなる両市の高校生交流を応援する新たなメニュー開発と交流ツアーの2つをテーマに実施しました。



コンカツお好み焼き(稚内)



カツオのぼくだんコロッセ(枕崎)

枕崎市の鹿児島水産高校食品工学科の生徒3人と、地域素材を使ったメニュー開発など様々な活動に取り組んでいる稚内高校商業クラブの生徒が一緒になって取り組んだもので、商品開発については8月の最北端食マルシェへの出店をめざし、お互いに食材提供や情報交換しながら新メニューのレシピ作成と試作を繰り返して準備をしてきました。

今回は「コンカツ」にちなみ、枕崎のカツオと稚内の昆布、勇知イモといったお互いの地元食材を活用。稚内高校はこれら食材と宗谷の水ダコも使った「コンカツお好み焼き」を、鹿児島水産高校は地元で未利用資源の「シマカツオを使った「カツオのぼくだんコロッセ」などをそれぞれ開発。最北端食マルシェで来場者に販売し食べてもらいました。



生徒自らガイド役(宗谷公園)

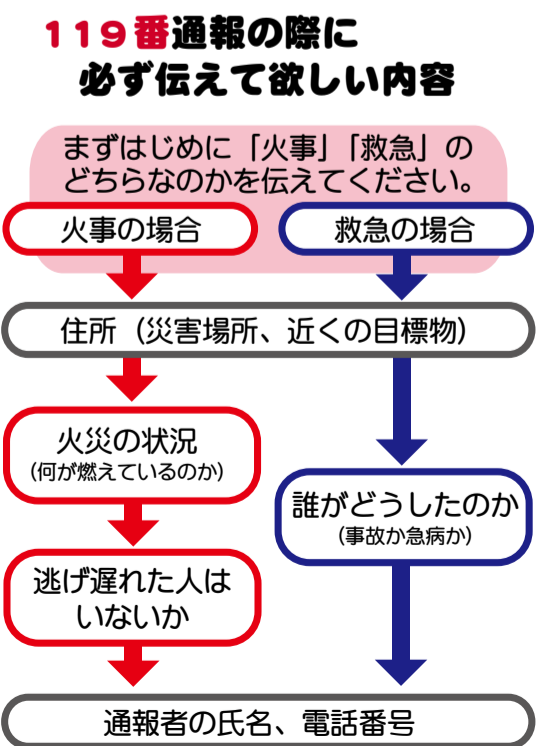
会場では、両校の反応は上々で、美味しかったとの声も多く、まとめ買いをしてくれる人もおり、今回のメニューをそれぞれの地元グルメの一つにしたいという意気込みが伝わりました。また、交流ツアーは稚内の「よさ」を紹介し枕崎で広めてほしいと、事前にプランを作り、バスで市内を案内。定番の観光地に加え、抜海岩、宗谷公園などあまり知られていない場所も案内し、伝説や歴史背景なども合わせて紹介していただきました。

商業クラブの板谷遼部長(3年)は「枕崎の生徒という話をすることで交流も深まり、PRもできた。メニューについては今後も情報交換してさらにいいものを作りたい」と今後の意気込みを話しており、両校ではこれを機に交流を続けていきたいとのこと。

協議会としても、若い世代が交流することで両市が末永く友好関係を築いていけることを期待しています。

(稚内コンカツプロジェクト推進協議会 市地方創生課)

119番通報の際に必ず伝えて欲しい内容



消防隊や救急隊が迅速に災害現場に到着するために、住所や災害の内容などの正しい通報が必要で、119番通報の際は、正確な通報、適正な利用を心がけましょう。

▼119番通報の際に必ず伝えて欲しいこと
①「火事」・「救急」の種類
②住所(災害場所、目標物)
③火災・事故などの状況
④逃げ遅れた人がいないか
⑤通報者の氏名、電話番号

▼災害等の問い合わせ
災害等の問い合わせに119番へ電話をかける方がいますが、119番回線は緊急時の回線です。災害時の問い合わせは「23・8119」です。問い合わせ先
稚内消防署警防グループ
☎23・2176

